

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	人工知能	担当教員	安田真		
学年学科	5 年 電気情報工学科	後期	選択	1 単位	
学習・教育目標	(D-4 (3)) 100%	JABEE 基準 1 (1) : (d)			
授業の目標と期待される効果： 工学的な立場から、人工知能を構成する基本的な技術について理解することを目的とする。具体的には ①問題解決について理解する。 ②プランニングについて理解する。 ③探索について理解する。 ④推論について理解する。 ⑤知識表現について理解する。 ⑥機械学習について理解する。		成績評価の方法： 中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋平常試験 50 点とし、総得点率 (%) で評価する。 達成度評価の基準： 以下の項目について、試験での正答率が 6 割以上となること。 ①問題解決についての理解度。 ②プランニングについての理解度。 ③探索についての理解度。 ④推論についての理解度。 ⑤知識表現についての理解度。 ⑥機械学習についての理解度。			
授業の進め方とアドバイス： 板書を中心に行なう。教科書の内容から離れることもあるので、各自学習ノートを充実させること。適宜演習を行なう。					
教科書および参考書： 人工知能の基礎 (馬場口登・山田誠二、昭晃堂) を教科書とする。					
授業の概要と予定：後期					
第 1 回：人工知能の歴史					
第 2 回：問題解決 (問題の定式化)					
第 3 回：問題解決 (問題の分解)					
第 4 回：探索 (ブラインド探索)					
第 5 回：探索 (ヒューリスティック探索)					
第 6 回：探索 (ゲーム木の探索)					
第 7 回：知識表現 (プロダクションシステム)					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：知識表現 (述語論理)					
第 10 回：プランニング (全順序プランニング)					
第 11 回：プランニング (半順序プランニング)					
第 12 回：プランニング (即応プランニング)					
第 13 回：推論 (常識推論)					
第 14 回：推論 (仮説推論)					
第 15 回：機械学習					
期末試験					
第 16 回：フォローアップ					